（様式１）

自己評価シート

長野県上松技術専門校木工科

評価区分	評価項目	評価項目の説明 【算出方法】	評価基準	評価	区分評価	コメント
①応募・入校 （令和5年度生）	応募倍率	・定員に対する応募者の倍率 【応募者数／定員】 （注） ・複数回受験した受験生については、重複して数える。 ・第2志望がある場合は、第2志望は考慮しない。	◎：1倍超　〇：0.8倍以上 △：0.5倍以上　×：0.5倍未満	△	△	木工科の訓練内容をより充実していきます 当校の良さ（基本技能の習得と自己で考え製作する製品製作）を伝える広報活動をしていきます。 ※応募者倍率：0.75倍 （応募者15名／定員20名）
	定員充足率	・定員に対する入校者の割合 【入校者数／定員×100】	◎：100%　〇：80%以上 △：50%以上　×：50%未満	△		適性と熱意のある人を取るための選考基準にしていきます。 ※入校者割合：50.0% （入校者10名／定員20名）
②訓練 （令和4年度生）	中途退校率	・訓練期間中に退校した者の割合 【{（中途退校者数-就職による中途退校者数）／（入校者数又は在校者数-就職による中途退校者数）}×100】 （注） ・就職による中途退校者数を加味する。 ・2年制の訓練科については、2年次当初の在校者数とする。	◎：10%未満　〇：20%未満 △：30%未満　×：30%以上	◎	◎	※中途退校者割合：0% （中途退校者0人）
	技能照査合格率	・技能照査の合格率 【合格者数／受検者数×100】	◎：90%以上　〇：80%以上 △：70%以上　×：70%未満	◎		※合格率：100.0% （合格者20人／受検者20人）
③就職 （令和4年度生）	就職率	・就職者数の割合 【{（就職者数＋就職中退者数）／（修了者数－進学者数＋就職中退校者数）}×100】 （注） ・就職による中退者含む。	◎：90%以上　〇：80%以上 △：70%以上　×：70%未満	〇	〇	※就職者数割合：**85.0%** （（就職者17人+就職中退者0人）／ （修了者20名-進学者0人+就職中退者0人））
	求人倍率	・求人倍率 【企業の訓練科への求人数／定員】	◎：1倍以上　〇：0.8倍以上 △：0.5倍以上　×：0.5倍未満	◎		※求人倍率**1.50倍** （求人数30人／定員20人 （求人数は木工関係求人数で木工科・木材造形科でそれぞれ1/2を計上））
総合評価		・上記の評価項目の評価基準による結果を踏まえ3段階（A～C）で区分 ・A：良好 ・B：一部改善を要する。 ・C：総合的な見直しを要する。	・「△」と「×」の数で評価 ・①応募・入校②訓練③就職の３区分で評価 ・各区分の項目の悪い方で評価 ・Aの条件 （条件1）「△」が1つ以下で「×」がない場合 ・Bの条件 （条件1）A、C以外の場合 ・Cの条件 （条件1）「×」が2つ以上 （条件2）「×」が1つで「△」が1つ以上 （条件3）「△」が3つの場合		A	

【参考指標】

評価区分	評価項目	評価項目の説明 【算出方法】	評価基準	評価	コメント
訓練	在校生の満足度 （令和4年度生）	・在校生1人1人の満足度指数から平均を算出 ・満足度指数は以下のとおりとする。 （在校生アンケート問3（1）より算出→満足：100、ほぼ満足：80、どちらでもない：50、やや不満：20、不満：0） 【1人1人の満足度指数の総和／回答が得られた調査数】 （注） ・在校生に対してアンケートを実施	◎：90以上　〇：80以上 △：70以上　×：70未満	〇	※満足度指数　80.0 （満足　6人、ほぼ満足　11人、 どちらでもない　2人、やや不満　1人 不満　1人）
	定着率 （令和2年度修了生）	・訓練科に関連した企業等に就職した者の3年後の定着率 （訓練科に関連した企業等に転職している者を含む） 【（3年目において訓練科に関連した企業等に就業中である者の数／修了時、訓練科に関連した企業等に就職した修了生数）×100】 （注） ・確認できなかった修了生については分母から除く。	◎：90%以上　〇：80%以上 △：70%以上　×：70%未満	◎	※定着率 100.0% （3年目関連企業就業者数11人／修了時関連企業就職者数11人） **未定者1名が、関連で自営** **進学者1名が関連で就業**

（様式1）

自己評価シート

長野県上松技術専門校木材造形科

評価区分	評価項目	評価項目の説明 【算出方法】	評価基準	評価	区分評価	コメント
①応募 ・入校 （令和5年度生）	応募倍率	・定員に対する応募者の倍率 【応募者数／定員】 （注） ・複数回受験した受験生については、重複して数える。 ・第2志望がある場合は、第2志望は考慮しない。	◎：1倍超　〇：0.8倍以上 △：0.5倍以上　×：0.5倍未満	〇	△	木材造形科の訓練内容をより充実していきます 当校の良さ（基本技能の習得と自己で考え製作する製品製作）を伝える広報活動をしていきます。 ※応募者倍率：0.8倍 （応募者16名／定員20名）
	定員充足率	・定員に対する入校者の割合 【入校者数／定員×100】	◎：100%　〇：80%以上 △：50%以上　×：50%未満	△		適性と熱意のある人を取るための選考方法を検討していきます。 ※入校者割合：70.0% （入校者14名／定員20名）
②訓練 （令和4年度生）	中途退校率	・訓練期間中に退校した者の割合 【｛（中途退校者数-就職による中途退校者数）／（入校者数又は在校者数-就職による中途退校者数）｝×100】 （注） ・就職による中途退校者数を加味する。 ・2年制の訓練科については、2年次当初の在校者数とする。	◎：10%未満　〇：20%未満 △：30%未満　×：30%以上	◎	◎	※中途退校者割合：0% （中途退校者1人） （1-1）/22-1））×100
	技能照査合格率	・技能照査の合格率 【合格者数／受検者数×100】	◎：90%以上　〇：80%以上 △：70%以上　×：70%未満	◎		※合格率：100.0% （合格者21人／受検者21人）
③就職 （令和4年度生）	就職率	・就職者数の割合 【｛（就職者数＋就職中退者数）／（修了者数－進学者数＋就職中退校者数）｝×100】 （注） ・就職による中退者含む。	◎：90%以上　〇：80%以上 △：70%以上　×：70%未満	◎	◎	※就職者数割合：**95.5%** ｛（就職者20人＋就職中退者1人／（修了者21人一進学者数0人＋就職中退者1人）｝×100
	求人倍率	・求人倍率 【企業の訓練科への求人数／定員】	◎：1倍以上　〇：0.8倍以上 △：0.5倍以上　×：0.5倍未満	◎		※求人倍率**1.55**倍 （求人数31人／定員20人 （求人数は木工関係求人数で木工科・木材造形科でそれぞれ1/2を計上））
総合評価		・上記の評価項目の評価基準による結果を踏まえ3段階（A～C）で区分 ・A：良好 ・B：一部改善を要する。 ・C：総合的な見直しを要する。	・「△」と「×」の数で評価 ・①応募・入校②訓練③就職の3区分で評価 ・各区分の項目の悪い方で評価 ・Aの条件 （条件1）「△」が1つ以下で「×」がない場合 ・Bの条件 （条件1）A、C以外の場合 ・Cの条件 （条件1）「×」が2つ以上 （条件2）「×」が1つで「△」が1つ以上 （条件3）「△」が3つの場合		A	

【参考指標】

評価区分	評価項目	評価項目の説明 【算出方法】	評価基準	評価	コメント
訓練	在校生の満足度 （令和4年度生）	・在校生1人1人の満足度指数から平均を算出 ・満足度指数は以下のとおりとする。 （在校生アンケート問3（1）より算出→満足：100、ほぼ満足：80、どちらでもない：50、やや不満：20、不満：0） 【1人1人の満足度指数の総和／回答が得られた調査数】 （注） ・在校生に対してアンケートを実施	◎：90以上　〇：80以上 △：70以上　×：70未満	◎	※満足度指数　92.4 （満足 13人、ほぼ満足　8人）
	定着率 （令和2年度修了生）	・訓練科に関連した企業等に就職した者の3年後の定着率 （訓練科に関連した企業等に転職している者を含む） 【（3年目において訓練科に関連した企業等に就業中である者の数／修了時、訓練科に関連した企業等に就職した修了生数）×100】 （注） ・確認できなかった修了生については分母から除く。	◎：90%以上　〇：80%以上 △：70%以上　×：70%未満	〇	※定着率 87.5% （3年目関連企業就業者数14人／修了時関連企業就職者数16人）